

17 照 島 (いわき市)



環 境

海食崖の沖合約250mに、国の天然記念物に指定されている「ウの生息地」照島が浮かんでいる。直径約50m、高さ約30mの小さな島で、頂上はほぼ平坦であるが周囲は切り立った崖になっており、頂上には数本の樹木が生えているにすぎない。冬になるとこの小島にウミウとヒメウの大群が集まり越冬する。

対岸の海岸段丘には、小名浜スプリングスホテルとゴルフ倶楽部があり、一年を通じてゴルフ客や避暑・避寒に訪れる人が絶えない。照島を観察するにはこのホテルのロビーからでも可能であるが、日本野鳥の会いわき支部との協定により、ゴルフコースを通して照島の最も近い崖の上まで行くことができる。

季 節

照島はウミウとヒメウにつきる。冬、島の頂上の平坦部はほとんどがウミウの大群におおわれ、島の裏側までは見えないが500羽近くのウミウが集まると思われる。周囲の切り立った崖の少しのくぼみや岩棚の部分には、ヒメウがしがみついている。ウミウとヒメウの勢力の違いが、その休息場所の違いに現れていておもしろい。

冬期、ミサゴがこの小島の松にとまり餌を狙っていることがある。魚を見つけると海面に飛び込み魚

を捕らえて飛び去ってゆく光景が見られるかもしれない。また、海食崖の続くこの付近にはハヤブサが生息し、小鳥を襲っていることもある。

ホテルを通り海岸に下りると、崖の下の消波ブロックにクロサギの姿を見ることもあるが、数は少なく、未だ繁殖までは確認できていない。海を見渡すと、冬にはクロガモの大群がこの海岸に集まり、笛のような鳴き声を聞くことができる。また、ハジロカイツブリやミミカイツブリ、ウミアイサなども観察できる。

交 通

JR常磐線泉駅からホテル専用のバスが出ている。申し出れば乗せてもらえる。マイカーの場合は、ホテルの駐車場を利用することになるが、必ずフロントに申し出ること。

